

校訓 清く 明るく 遅しく



学校便り

きたっ子

佐賀市立春日北小学校 (文責 熊谷智之)

令和6年5月10日 (NO.3)

学校方針 みんなが安心して過ごせる学校
教育目標 夢をもち 仲間とともに学ぶ 元気な北っ子の育成
～ 思いやる 考える きたえる ～

楽しく交流

4月26日(金)に、「1年生を迎える会」と「歓迎遠足」がありました。

2時間目の「1年生を迎える会」は、運営・集会委員会の5、6年生が会を進めてくれました。入場では、2年生から5年生が拍手で迎える中、6年生のお姉さん、お兄さんに手を引かれた1年生のこやかな笑顔が印象的でした。入場を終え、「さんぽ」を全員で楽しく歌い、学校紹介〇×クイズがありました。1年生に学校のことをよく知ってもらおうと、クイズの中身も工夫されていて大いに盛り上がりました。

学校が始まって期間が短い中、運営・集会委員会の5、6年生は、迎える会の成功に向け頑張ってくれました。こういった高学年の頑張っている姿は、他の学年のモデルとなります。今後も、たくさんの高学年の頑張りに期待しています！



入場



歌のプレゼント



〇×クイズ

迎える会が終わった後は、金立コスモス園まで歓迎遠足に行きました。金立コスモス園までは約3kmほど距離があるのと、降雨の天気予報だったので心配を抱えながらの出発でした。遠足は、縦割り班ごとに、1年生と6年生、2年生と5年生、3年生と4年生でペアとなり、赤組から青組、黄組の順にスタートしました。6年生や5年生は、1年生、2年生のお世話をよくしてくれ、荷物を持ったり、歩くペースを合わせたりと随所に高学年らしさを見せていました。天気が曇りだったことが逆に幸いして、大きな遅れもなく公園に到着しました。

公園に到着した組から、先生の話をお聴いて班ごとにお弁当タイムです。最後に到着した黄組がお弁当を食べている途中から雨がポツリポツリと降り始め、雨雲レーダーで確認しても回復の様子が見られなかったため、子どもたちには悪かったのですが、急遽学校へ帰ることにしました。急な変更にもかかわらず、子どもたちは臨機に対応し、無事に学校へ帰ることができました。この子どもたちの対応に「さすが北っ子！」と改めて感心しました。

雨にたたられたのは残念でしたが、全校で交流を深めることができた1日となりました。



班ごとに出発



組で集合



お弁当タイム

地域の教育力

5月7日（火）～10日（金）の4日間、「春日北町づくり協議会」の方々が子どもたちのためにあいさつ運動に来られました。

今回、あいさつ運動に来ていただいた方は4名で、朝の7時半前から8時過ぎまで、学校北の校門前の横断歩道で、子どもたちに優しくあいさつをされていました。あいさつだけでなく、交通安全の旗をもって、交通指導もしていただき、本当にありがたく思いました。

春日北小では、PTAの方々も、毎月1日・15日にあいさつ運動をされています。保護者や地域の方々の温かな見守りがあるというのは、それだけ地域に教育力があることだと思います。

子どもたちには、地域の方々の温かな見守りを感じとる感性と、感謝の気持ちを持って、健やかに成長してほしいと思っています。



「話をきく」ことは…

5月の全校集会で、「話をきく」ことについて話をしました。私は、話をきくことは、きく側の態度によって大きく変わっていると思っています。話し相手をしっかり意識しながらきくようになってほしいので、まずきき方について、「耳」で声の調子を、「目」で表情を、「心」で相手の気持ちを思いながら、「十」分にきくようにすることが大事であることを伝えました。

この「耳」と「目」と「心」と「十」を組み合わせると、「聴」という漢字になります。耳と目と心を使って話を聴くことは、相手を思うことにつながります。聴く側が一生懸命相手のことを思いながら聴こうとすれば、話をする一人ひとりに「安心感」が生まれます。一人ひとりが安心感をもてば、クラスは安心感に包まれます。それこそ、クラスが安心できる居場所となります。

こう考えると、「話を聴く」ことは「相手を大切にすること」とも言えます。自分の話の聴き方を意識することで、相手への接し方も変わってきます。これからも、聴く姿勢を大切にすることで、クラスや学校を安心感に包まれる場所にしてほしいと思っています。

「思いやる 考える きたえる」

教育目標の中に「思いやる 考える きたえる」があります。以下の具体的なことを子どもたちにやってほしいと考えています。子どもたちには、このことを意識しながら学校生活を送ってほしいと思っています。

「思いやる」

- ①あいさつをする・・・あいさつは人とつながる大切な言葉。
- ②ほかほか言葉・・・自分が言われてうれしいと思う言葉を使おう。
- ③いじめのない、安心感があられる学級や学校にしよう。

「考える」

- ①先生の話、友だちの話をしっかり聴こう。
- ②難しい問題でも、まず、自分の力でチャレンジしよう。
- ③宿題や自主学习など、進んで取り組もう。

「きたえる」

- ①いろいろなことに根気強く取り組もう。あきらめずに繰り返し頑張ることが大切。
- ②心や体の健康のためには、「栄養」「休養」「運動」が大切。
- ③「早寝・早起き・朝ごはん」・・・生活のリズムをつくろう。

自分一人ではうまくできないことがあっても、仲間も頑張っていると思えば、あきらめずに挑戦することができるのではないのでしょうか。子どもたちの健やかな成長のためにも、ご家庭でもご協力をお願いいたします。